

函館の教育が目指す人間像の修正について

1 第4回協議会で実施したグループ協議の経過について

グループ協議で各班の意見等を参考資料1のとおり取りまとめ、以下に要約したものを記載した。以下の要約においては、取消線は削除もしくは書き換えしたほうがよい部分、アンダーラインは、その要素もしくは語句を生かした方がよいと思われる部分としている。

A 成長・自立・創造

- 自らの生き方を設計し 個性や創造力を発揮しながら ~~どのような状況でも夢に向かって~~挑戦し続け 新たな魅力を創り出す人

B 世界・未来

- ~~函館への誇りと愛 地域課題への意識と世界を見据える広い視野を持ちながら 未来に向かって努力し続け 先頭に立って 社会に貢献する大~~
- ⇒ 地域を知り 函館を愛し 世界に目を向け 未来につながる行動ができる人

C 協働（共働）・連携・共生

- 自他の生命を尊重し 社会性や規範意識をもって 他者を思いやり ~~多様な人々と通じ合い支え合いながら 絆を共創する大~~
- 多様な人々と絆を結び大切にする人

2 修正にあたっての考え方について

人間像の枠組みについて、前回のグループ協議の柱、国の教育振興基本計画に掲げる3つの方向性である「自立」「協働」「創造」、また、北海道教育推進計画の2つの基本理念である「自立」「共生」を踏まえ、「自立」「共生」「創造」とした。その柱に合わせ、グループ協議での意見に基づいて、内容を組み替えるとともに、「国の第3期教育振興基本計画の策定に向けた基本的な考え方」、「函館市基本構想」から語句を一部引用し、内容を構成した。

3 函館の教育が目指す人間像（原案）の構成について

自立

・自主的に学び 個性・能力を伸ばし 主体的に判断して 変化する社会を生きる人

共生

・寛容さと思いやりの心をもって 多様な人々と絆を結び 共に支え合う人

創造

・函館を愛し 世界に目を向け 新たな価値を創り まちの魅力を高める人

【構成の考え方】

▶自立

自主的に学び 個性・能力を伸ばし 主体的に判断して 変化する社会を生きる人

語句	考え方
自主的に学び 個性・能力を伸ばし	「自主的な学びのスタイルを構築し、知識を深めるために生涯を通じて学び続け、個性や能力を伸ばす」という意味を含めた。
主体的に判断して	「変化する社会の中で生じる様々な課題に対しては、課題の本質を捉え、解決に向けた行動につなげる」という意味を含めた。（国の「第3期教育振興基本計画策定に向けた基本的な考え方」における「教育の目指すべき姿」から引用した。）
変化する社会を生きる	「技術革新等の一層の進展により、変化する社会にあっても、強い意志をもって行動し、社会を生き抜く」という意味を含めた。 （国の第2期教育振興基本計画の基本的方向性である「社会を生き抜く力（多様で変化の激しい社会の中で個人の自立と協働を図るための主体的・能動的な力）の養成」の意味合いも含有する。）

▶共生

寛容さと思いやりの心をもって 多様な人々と絆を結び 共に支え合う人

語句	考え方
寛容さと思いやりの心をもって	「他者を受け入れて尊重し、協力し合う心をもつ」という意味を込めた。(A班のキーワード「寛容」を引用した。)
多様な人々と絆を結び	「年齢、性別、国籍、障がいの有無などが異なる人々が絆を深め、ネットワークを構築する」という意味を込めた。(C班のキーワード「多様な人と絆を結び大切にする」を一部引用した。)
共に支え合う人	「協働することを通じて、自らが支えられていることに感謝をしながら他者を支える。」という意味を込めた。

▶創造

函館を愛し 世界に目を向け 新たな価値を創り まちの魅力を高める人

語句	考え方
函館を愛し 世界に目を向け	「郷土に対する誇りや愛を強くもち、世界に目を向けるような広い視野をもつ」という意味を込めた。(B班のキーワード「地域を知り 函館を愛し 世界に目を向け」から一部引用した。「地域を知り」の部分については、基本的方向性において表現することとした。)
新たな価値を創り まちの魅力を高める	「自他の人生を豊かにする新たな価値を創り出し、まちの魅力を高める」という意味を込めた。 (A班のキーワード「新たな魅力を創り出す人」を「第3期教育振興基本計画策定に向けた基本的な考え方」における「教育の目指すべき姿」や中教審の次期学習指導要領答申から表現を引用し、「新たな価値を創り」とした。また、「函館市基本構想」における「函館市の将来像」の「今を生きる私たちの使命は、現状に甘んじることなく、まちの魅力を新たに創り出し、さらに高めて、次世代へ継承していくことだと考えます。」という記述の趣旨を踏まえ構成した。)